

◆ヘタスキ/ヘタズレ、黒いヘタスキ/ヘタ元の皮が黒い 何が違う？

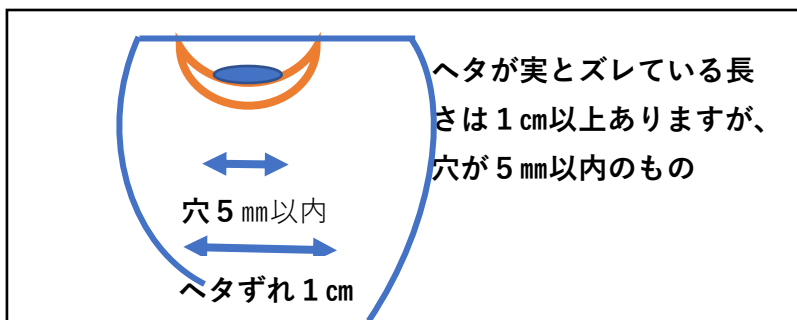
- ①「ヘタスキ」とはヘタと実の間に穴が空いているものです。
- ②「白いヘタスキ」とは糸つり後に柿の重みでヘタと実が離れて穴が空いたものです。
- ③その中で、穴の大きさが5ミリ以下のものが「白いヘタスキ」として出荷できるものです。
- ④「白いヘタスキ」で穴の大きさが5ミリを超えるものは「等外」で出荷できます。
- ⑤「黒いヘタスキ」とは穴の中が黒いもので、これは収穫前からの穴で、雨あか等で黒くなったものです。
- ⑥穴の中が黒い「黒いヘタスキ」は、「等外」も含め出荷できません。
- ⑦ヘタがずれておらず、穴もなくヘタ元の皮が黒いものは、黒いヘタスキはありません。通常に出荷できます。
- ⑧「ヘタズレ」とはヘタと実がずれているが穴が空いていないものです。
- ⑨「ヘタズレ」は穴があいていないので、通常に出荷できます。

●出荷出来る「白いヘタスキ」の例



ヘタズレは1cm程度ありますが、ヘタスキ穴は5mm以内のものです。

5mm以内は空いている穴の大きさで、柿の実とヘタがずれている長さではありませんので、注意下さい。



ここで判断！

- 判断1 穴が空いているかどうか →空いていないものは「ヘタズレ」で出荷可
- 判断2 穴の中が白いか黒いか →黒ければ「黒いヘタスキ」出荷不可
- 判断3 穴の大きさが5ミリ以下か →5ミリ以下なら「白いヘタスキ」で出荷可
→5ミリを超えれば「白いヘタスキ」の等外で出荷可



良くよんでね！